

魚津市立片貝・吉島・西布施小学校統合校校名募集集計(五十音順)

番号	校名案	ふりがな	年代	理由	備考
45	愛輪	あいわ	40	みんな仲良く輪になって、互いが助け合い思いやりを持ってすごしてほしい。	
79	青空ふれあい	あおぞらふれあい	30	青空の下で元気よく伸び伸びと育ててもらい、ふれあいを深めてほしい。	
76	彩芽	あやめ	40	片貝川の青、加積りんごの赤、西布施ぶどうの紫など色彩豊かで恵み多い土地で子供たちが自分らしく生き生きとした芽を育み、仲間と元気な学校生活を過せるように。	
160	あゆみの里	あゆみのさと	40	みんな協力して一歩、一歩歩んでいくという意味で考えた。	
20	いろは	いろは	70	あいうえおとか、いろはにほへととか、新しく始まることに関して各地区の名前とか代表表現とか。	
121	魚づしんきろう	うおづしんきろう	小学生	魚津だったらしんきろうが見ることができるから。	
154	魚津第一	うおづだいいち	30	小学校統合が一番最初だから。	
147	魚津東部	うおづとうぶ	50	4校の新小学校に対して全国的に場所のイメージがわきやすい。	
15	魚津東部	うおづとうぶ	70	今後、4校の統合校を考えたとき、地理的環境から分かりやすい。	
148	魚津東部	うおづとうぶ	70	過去に加積中学校が東部中学校になり、地名を採択せず、西部中学校、東部中学校としてスタートした。魚津市全体の変更であることから方角で良いと思った。	
66	魚津東部	うおづとうぶ	小学生	魚津の東部にあるから。	
23	魚津東	うおづひがし	50	魚津で4つの小学校になるので、東西南北に分ける。	
61	魚津東	うおづひがし	小学生	市役所から見て各統合小学校の一番東にあるから。	
27	かがやき	かがやき	小学生	今からかがやく学校を作ってもけんかのない未来を作ってほしいから。	
114	かずみ	かずみ	小学生	魚津のかずみに注目した。	
152	加積	かずみ	小学生	加積地区だから。	
166	かつみ野	かつみの	40	加積地区内に小学校があるから。ひらがなを交えた方がわかりやすい。「野」は平野などの意味も込められている。	
8	加積野	かずみの	60	もともと加積地区なので。名前を広い意味で残したい。	
7	片貝川	かたかいがわ	30	近くを流れる川をもとに。	
133	片貝清流	かたかいせいりゅう	60	片貝川は日本屈指の急流で大伴家持も詠んだ清流である。毛勝三山を源とし、水循環を学ぶことができる。布施川は片貝川の支流であり、片貝、加積、天神、西布施地区共有の貴重な財産である。	
119	片吉布施	かたきちふせ	小学生	名前も一緒に合わせるともっと仲良くなれると思ったから。	
100	片島施	かたじませ	小学生	片貝の片と吉島の島、西布施の施を合わせた。	
112	片島施	かたじませ	小学生	統合で集まるから。	
120	片島施	かたじませ	小学生	三つの小学校が合体するので漢字の一文字をとった。	
108	片島施	かたじませ※	小学生	合体したから。	
135	加積	かつみ	30	自然に囲まれているりんごの里だから。	
95	かつみ	かつみ	40	加積地区であり、現吉島小の校歌にもある。	
13	加積	かつみ	60	旧校名復活希望 地名的にも広域に親しまれ、夢と希望がわきつづけそう。	
51	かつみ	かつみ	小学生	かつみ地区の小学校だから。	
55	加積	かつみ	小学生	かつみりんごが有名だから。	
58	加積	かつみ	小学生	魚津はりんごがいっぱいだから。	
80	かつみ	かつみ	小学生	かつみりんごが名産物だから。	

番号	校名案	ふりがな	年代	理由	備考
122	かづみ	かづみ	小学生	校歌にもっているから。	
128	かづみ	かづみ	小学生	加積地区にいるから。	
141	加積野	かづみの	30	加積地区に学び舎を構える。吉島小の校歌から引用	
74	かづみ野	かづみの	40	加積りんごの産地だから。	
144	かづみ野	かづみの	40	加積地区に集結し、児童が野山で伸び伸びと学び育つ様子を思いつつ考えた。滑川や上市の一部にも加積がつく地名があることからひらがなで区別した。	
129	加積野	かづみの	40	加積地区にあるので。	
46	加積野	かづみの	50	小学校が加積地区にあり、りんごをイメージできる。	
153	かづみ野	かづみの	50	吉島小のある地区の「かづみ野」がふさわしい。子どもたちもわくわくできる学校名だと思う。	
139	かづみ野	かづみの	50	地域の名称	
21	かづみの	かづみの	50	学校の所在地が加積地区であるから。	
10	かづみの	かづみの	60	吉島小の校歌の一節。片貝・西布施地区もみどりの加積野である。	
156	かづみ野	かづみの	60	吉島小学校は加積野平野に位置し、また、加積地区は加積りんごの産地として名が知られている。	
54	加積野里	かづみのさと	小学生	学校が加積地区にあるので。	
59	かづみ野	かづみの	小学生	場所の地名と、吉島小学校の校歌にも入っている言葉だから残していきたい。	
65	かづみ野	かづみの	小学生	覚えやすく親しみやすい。	
25	かづみの里	かづみのさと	30	「かづみの里」と言われるように、子どもたちにも元気にすごしてもらいたい。	
167	かづみの里	かづみのさと	40	加積地区内に小学校があるから。ひらがなを交えた方がわかりやすい。「里」は人々が住んでいる所や豊かな自然、色々な作物がとれる所、ふるさとなどの意味が込められている。	
53	加積野里	かづみのさと	小学生	かづみのりんごの故郷をイメージした。	
48	かづみりんご	かづみりんご	小学生	加積地区にあり、りんごが盛んで囲まれているか	
107	加積りんご	かづみりんご	小学生	学校の周りに特産品であるりんごの木があり、四季を通じて眺めながら学校生活を送る。子どもたちもみんな仲良く共に大きく実ってほしいと願いを込めて。	
163	かにきて	かにきて	60	片貝、西布施、吉島、天神の頭文字	
3	上東部	かみとうぶ	70	地域的に位置する。 卒業生は東部中へ他統合校との差別化。 響きが良い。	
155	上東部	かみとうぶ	小学生	今後、道下小と経田小が統合した場合、東部だけではわかりづらいので、上下で分けた。	
6	川の丘	かわのおか	30	片貝川から山手まで横断している地域の小学校であるため。	
70	吉貝施	きちかぜ	小学生	吉島の「吉」、片貝の「方」、西布施の「施」。	
62	吉片西	きちかたせい	小学生	統合三校の名前をくっつける。	学区外通学
57	吉方ふせ	きちかたふせ※	小学生	野球の名前にふせとつけたらいいと思う。	
39	吉島	きちじま	40	学校の住所が吉島なので、変更する理由がない。	
40	吉島	きちじま	40	吉島小学校の実績が深くたくさんあるため。	
2	吉島	きちじま	40	校名変更に費用が掛からず経済的。	
118	吉島	きちじま	小学生	そのままが良い。	
116	きちじま第二	きちじまだい	小学生	統合してきちじま第二として生まれ変わる。	
103	希望の郷	きぼうのさと	50	児童それぞれの目標や夢に向かって、希望を持って学校生活を送れる学校を創る。希望は実現に向けての原動力となり、夢や目標を叶える可能性を高める。 卒業後も心の中の故郷となる思い出がたくさんつくれる希望あふれる学校であって欲しい願いを込めた。	
109	元気っ子	げんきっこ	小学生	みんな元気な小学校がいいから。	

番号	校名案	ふりがな	年代	理由	備考
96	こちや(東風谷)	こちや	70	こちとは東風と言ひ、春先に東より咲いて来る風(東風)で溶けた氷層が水となり、校下の片貝川と布施川と小川寺川に流れ、校下の大地や他の地域を潤す。その様に潤す人々になる教育小学校となることを願った。東部中に進学し、大きくはばたく願ひもこめた	
82	小春日和	こはるびより	40	世代を超え、のんびりとした時間を共有し、子供たちがのびのびと成長する様をイメージした。	
164	さんの里	さんのさと	40	3校の歴史の足跡は校下の皆様のふる里。3校を「さん」と表現し、ふる里を「里」と表現し、馴染みやすく付けた。	
89	東雲	しののめ	60	夜明け前に茜色にそまる空を意味し、新しい小学校の発足にふさわしい。 また、市の東部で日の出の位置にあたることから相応しい。	
97	清水	しみず	70	大伴家持のうたに「清く行く水の」とあるため。	
41	新吉島	しんきちじま	40	吉島校下に新しく3校が合併され、小学校が生まれ変わるため。	
28	清流	せいりゅう	30	3校ともに片貝川、布施川の流域にあり、清らかな川の流れのように子どもたちも育てほしい。	
158	清流	せいりゅう	30	西布施、片貝、吉島に属する片貝川にちなんで。	
5	清流	せいりゅう	50	一年を通して清い水流に恵まれた場所であり、子どもたちも清い流れのように育てほしいとイメージした。	
77	清流	せいりゅう	60	円筒分水槽、黒谷頭首工、山の森キャンプ場を散策し、魚津の水循環のすばらしさに感動し、清く美しい水の流れに感謝した。 「流れて清き川の水」から思いついた。	
29	清流	せいりゅう	60	地内には、布施川、小川寺川、片貝川という清らかな水が流れているから。	
73	清流	せいりゅう	60	各地区共通の川である片貝川にちなんで、たゆまぬ努力、清らかさ、日本海を未来の象徴として、そこへ一気に目指すたくまさを期待して。	
49	清流	せいりゅう	小学生	片貝川に新しく作られた橋の名前と同じで、親しみを感じ覚えやすいから。	
162	青龍	せいりゅう	小学生	青龍は東の空を守っている伝説の生き物で、東部中の「東」とかけて名付けた。龍みたいに強くて優しくしたいから。	
75	清流かつみの	せいりゅうかつみの	50	片貝川や布施川の清流と加積野の大地に因んで。大伴家持や大伴池主が詠んだ片貝川の句にあるように学校や子どもたちが「絶えることがない」との願ひもこめている。	
131	せせらぎ	せせらぎ	40	片貝川のせせらぎから。	
104	せせらぎの里	せせらぎのさと	50	片貝川、布施川をはじめ、多数の用水が流れており、せせらぎが聞こえる里である。水の流れは止まることがなく、それが継続を表し、継続を力にして、頑張る児童を育てる学校への思いを込めて。	
159	僧川	そうせん	50	僧ヶ岳と水の恩恵を受けて、のびのびと純粋に育てほしい。	
14	第一	だいいち	60	一番目の統合小学校だから。 覚えやすく、後々まで一番目に記憶に残る。	
88	第一	だいいち	60	小学校再編計画の第一番目である。	
113	第一	だいいち	小学生	かっこいいから。	
137	中央	ちゅうおう	30	片貝、西布施の真ん中にあるから。	
56	中央	ちゅうおう	小学生	場所が中心にあるから。	
33	中央	ちゅうおう	小学生	片貝小と西布施小の真ん中であるから。	
67	統合	とうごう	小学生	3つの小学校が合併する。	
34	東部	とうぶ	30	いずれ4校となり、東に位置するため。	

番号	校名案	ふりがな	年代	理由	備考
72	東部	とうぶ	30	東部中学校校下であり、地域の住民にも分かり易い。	
123	東部	とうぶ	30	東部中学の小学校部ということで、名称のひびきが魚津の人になじみがある。	
86	東部	とうぶ	40	地域間のわだかまりが出ないよう、4校を平等に北部、西部、東部、南部という方角に合わせた校名にしたほうがよい。	
132	東部	とうぶ	40	いずれ4校になるので、位置的に考えて。	
30	東部	とうぶ	40	東地区統合の小学校であるため。	
1	東部	とうぶ	50	わかりやすく、覚えやすい。	
149	東部	とうぶ	50	統合地区が魚津市の東部である。	
85	東部	とうぶ	60	統合地区が市の東部である。	
150	東部	とうぶ	60	統合地区が魚津市の東部である。	
151	東部	とうぶ	60	魚津の東部に小学校があるから。	
140	東部	とうぶ	70	日の出の山があり、市の東に位置する。	
17	東部	とうぶ	70	学校が市の東に位置し、東部中学校校下にあることから。	
63	東部	とうぶ	小学生	魚津市の東側にある小学校が統合するから。	
64	東部	とうぶ	小学生	東部中学校の近くにある一番大きい学校だから。	
92	東部	とうぶ	小学生	市の東側の地域に建っているから。	
106	東部	とうぶ	小学生	3つの小学校が東に向いているから	
37	東部	とうぶ※	40	将来的には4校に集約され、廃校になる地域からの住民の心情を考慮し、東西南北の方向を当てはめた。	
78	東部	とうぶ※	60	魚津市の東部であるから。	
38	東部かがやき	とうぶかがやき	小学生	いずれ、小学校は東西2校になることから、「東部」を入れ、また、新幹線開通で「かがやき」が走ることから入れてみてはどうかと思った。	
18	東部僧馬	とうぶそうま※	60	※記載なし	
35	東部第一	とうぶだいいち	30	経田・道下と合わせ、東部地区2校の小学校となるため、一番わかりやすい。	
165	東部第一	とうぶだいいち	70	市の東部に位置し、第一番目の統合校であるから。今後は、東部第二、西部第一、西部第二としたらわかりやすい。	
36	東部第一	とうぶだいいち	小学生	東部中学校があるため、東部だけだと間違いやすいため、第一と付けた。	
52	東部第二	とうぶだいに	小学生	卒業したら東部中学校に入学するので。第一は道下小学校、西部第一(住吉)、西部第二(本江)	
12	東部東	とうぶひがし	50	無難な表現の校名が良い。	
11	東部南	とうぶみなみ	50	無難な表現の校名が良い。	
9	東陽	とうよう	中学生	統合3校は魚津市の東側に位置している。太陽が東側から昇るように、子どもたちも上に向かって夢や希望を持ち光り輝いてほしい。	
111	新川	にいかわ	小学生	新川地区にあるから。	
161	虹色	にじいろ	40	子ども達は、心に色んな「色」を持っている。統合することによって新たに友達がいっぱいできるので、皆で協力し合い、輝かしい素敵未来への懸け橋として担ってほしいと思ったから。	
134	東	ひがし	30	市内4校になるので東西南北にしてほしい。変わった名前だとどこにある学校かわかりにくい為。	
19	東	ひがし	40	学校が市の東に位置し、東部中学校校下にあることから。中学に「部」が含まれ、中学校区2校のうち一つの小学校なので「部」を外す。	
26	東	ひがし	50	将来4校に統合されたときに、東西南北になればよいと思う。	

番号	校名案	ふりがな	年代	理由	備考
16	東	ひがし	60	統合地区はそれぞれの特徴や歴史があり統一した名称は難しい。 学校が「東」に位置していることからシンプルに「東」の方がよい。	
42	東	ひがし	60	市内に4校の小学校になるので、東西南北の名称にすればよいのでは。	
87	東	ひがし	60	再編4校のうち先行する学校が特別な意味を持つような名称として、あとから命名する地域に不快感を与えないよう配慮し、4校の位置から一般的な名称とした。	
90	東	ひがし	70	市の東部地域に位置しているため。	
47	東	ひがし	小学生	4つに統廃合されるので、わかりやすく東西南北で「東」とした。	
93	ひがし野	ひがしの	50	東の方の学校というイメージがある。「の」は漢字がよいと思った。	
84	陽だまり	ひだまり	40	ポカポカと暖かい日差しの下、子供たちが元気に遊んでいる様子をイメージした。	
44	日の出	ひので	70	魚津市の夜明けで始まる小学校に栄えあるイメージを絶賛したい。	
101	日輪	ひのわ	小学生	日本人が輪になってがんばるように。	
94	平成東部	へいせいとうぶ	50	中学校同様、小学校も東部があつてよい。ただし、他の市内にもありそうなので平成に変更した名前ということで考えた。	
142	豊清	ほうせい	30	実り豊かな土地であること。片貝川、布施川の清らかな流れが心の支えであること。	
130	美里	みさと	40	美しい自然に囲まれた里にあるから。	
157	美里(郷)	みさと	60	自然環境が豊かな地という意味を総称した。この地域(里)では、水稻はもとより、りんごやぶどう栽培が盛ん。	
138	みどりの里	みどりのさと	30	山や川やりんごの里だから。自然に囲まれているから。	
168	みのりの里	みのりのさと	40	地域のことを考えると美しい山々や河川、豊かな土地で取れる農作物や様々な夢に向かって頑張っている人々が思い浮かぶ。それらに共通してあてはまる言葉にみのり(実り)(美野里)があると思う。夢や希望を实らせたり、人々の心も豊かになっていけたらという願いを込めて。	
83	実りの里	みのりのさと	19歳以下	ブドウ、りんご等の特産物と子供たちが大きく育つ過程をイメージした。	
102	実りの里	みのりのさと	小学生	4つの地域の笑顔が実るように。 加積はりんごが実り、天神と西布施はぶどうが実り、片貝は米が実り、この4つは実りの里だから。	
60	明光	めいこう	小学生	一人ひとりが輝く明るい小学校。	
81	めぐみの守	めぐみのもり	50	海山川の恵み(魚、野菜、果物等)がたくさんある事と、自然や人(家族、地域)に守られている事から。	
136	山川	やまかわ	30	山と川が近くにあるから。	
24	夢の森	ゆめのもり	70	片貝の洞杉、西布施の地鎮杉、天神吉島の果樹と豊かな森にいだかれて児童が夢を持って育つように名付けた。	
99	夢の森	ゆめのもり	小学生	みんなの夢がつまった小学校になってほしいから。周りはりんごに囲まれていて、森の中にいるみたいから。	
4	りんご	りんご	30	りんご畑に囲まれている。 親しみやすい。覚えやすい。 自分の子どもが入学すれば楽しい名前だと思う。	
32	りんご	りんご	40	吉島地区の名産なので。	

番号	校名案	ふりがな	年代	理由	備考
145	りんご	りんご	70	ユニークでメルヘンチックな可愛い校名である。青空の下の真っ赤なりんごから元気、健康、幸福等を連想し、小学生の健全な育成を目指す小学校にふさわしい。魚津りんごのPRの一助にもなる。	
50	リンゴ	りんご	小学生	吉島はりんごが名物だから。	
69	りんご	りんご	小学生	加積と言えば「りんご」だから。	
115	りんご	りんご	小学生	りんご畑がたくさんあっておいしいりんごがいっぱいとれるから。	
117	りんご	りんご	小学生	特産品でひびきも良い。	
126	りんご	りんご	小学生	加積はリンゴが有名だから。	
127	りんご	りんご	小学生	まわりにたくさんりんごがあるから。	
68	りんご	りんご	小学生	学校の周辺にりんごの木がたくさんあるから。親しみやすい名前だから。	
105	りんご	りんご	小学生	まわりにりんご園がたくさんあるから	
125	りんご	りんご	小学生	りんごの木がいっぱいあるから。	区域外通学
43	りんごの丘	りんごのおか	30	小学校のある加積地区はりんごが有名。みずみずしい真っ赤なりんごと、大切な仲間と成長していく真っ赤なほっぺの子どもたちが重なる。	
98	りんごの丘	りんごのおか	50	小学校の周りがあるりんごをイメージし、春の花咲く頃から冬の実になる頃、通学途中になる風景を大人になっても思い出す風景だと思うため。	
146	りんごの里	りんごのさと	20	りんご畑がたくさんある中で生き生きと学んでほしいから。	
143	りんごの里	りんごのさと	30	りんごの樹々は、子どもたちの成長を見守っているかのようにあり、夢や希望を持って学び、遊び、たくましく成長していく子どもたちの姿と重ね合わせることができる。ふる里の「里」を加えることで魚津を大切に思い、未来に向かって羽ばたいて、夢を实らせてほしい気持ちを込めた。	
22	りんごの里	りんごのさと	50	学校の辺りにりんごの木がたくさん植えられている。	
91	りんごの里	りんごのさと	小学生	学校がりんご畑に囲まれているから。	
110	リンゴの里	りんごのさと	小学生	リンゴが有名で、リンゴみたいにみんな笑顔でいてほしいから。	
124	りんごの里	りんごのさと	小学生	まわりにりんご畑がたくさんあって、子どもたちもりんごのようにいきいきと輝いて育ててほしいから。	
31	りんごの里	りんごのさと	小学生	りんごの産地だから。	
71	りんごの森	りんごのもり	小学生	学校の周りがりんごに囲まれているから。	